



**將軍山会結成10周年記念
総会へ!!**

7月12日(日) 11a.m.
大阪ロイヤルホテル

日 時
7月12日(日) 午前11時
場 所
大阪ロイヤルホテル桐の間
会 費
三千円(当日お払い下さい)
抽せん
豪華な特賞・一等賞などの賞品の他 空くじなし

□第1次△候補者推薦▽は
第1次△候補者推薦▽と第2次△信任投票▽
とにわけます。

將軍山会新役員選挙について

本会を昭和50

年5月に再建し

てからはや6

年の月日を経過

しました。

その間 各役員の努力で経済的に

も安定し また信用度も深まりまし

た。しかし同窓会將軍山会としての

ほんとうの活動は まだまだです。

どうかみんなさんの身近かの学友・同

窓の中から 母校の発展に寄与し得

る役員を・同窓会の活動に役立ち得

る役員をご推薦下さい。

下さい。締切日などについては次

の機会に明示いたします。

この投票の結果は 次回に発行を

用紙▽を使って 至急に本会選管

にお送り下さい。

イ 大学生友会に登録されている文化会・体育会など各クラブ・同好会のOB会より会長名で推薦されたもの。
ロ 各卒業期・各学科・各ゼミより会員の推薦したもの。
ハ 会員の推薦したもの。

以上に限ります。今回は△自薦▽

予定している親団体の山桜会報と共に

この投票の結果は 次回に発行を用紙▽を使って 至急に本会選管にお送り下さい。



発行所
茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学同窓会
將軍山会
0726-43-5421 内線337
発行者
常任理事會議長 鶴毅
© 1981

総会のご案内

常任理事會議長 鶴毅

追手門学院大学同窓会將軍山会は昭和45年に第一期生が卒業して後すぐ結成されたが、いろいろな事から49年には壊滅の危機に瀕する状態に陥りました。しかし会員諸兄姉の絶大なご支援を得て、現在経済的にも組織的にも安定しました。今後さらに発展させるためにぜひご来会下さい。お待ちしています。

はありません。
第1次△候補者推薦▽の締切りは7月31日(金)まで 本紙と同封の推薦用紙を使用して本会選管委員会宛にお送り下さい。
□候補者一覧表を郵送
第1次の推薦候補者氏名一覧表を本会より会員のみさんに郵送いたします。予定は10月はじめです。
□会員のみなさんへお願い
本会を昭和50年5月に再建してからはや6年の月日を経過しました。その間 各役員の努力で経済的にも安定し また信用度も深まりました。しかし同窓会將軍山会としてのほんとうの活動は まだまだです。どうかみんなさんの身近かの学友・同窓の中から 母校の発展に寄与し得る役員をご推薦下さい。
紙にご返送下さる会員の会員番号ご氏名を明記し 封筒に入れご返送下さい。締切日などについては次回に明示いたします。
本紙と同封の△新役員候補推薦用紙▽を使って 至急に本会選管にお送り下さい。

第15回 将軍山祭

実行委員長 伊藤真一

第15回将軍山祭を迎えるにあたり、例年以上に困難な諸問題に対し、努力検討してまいりました。

大学祭を真に実践活動するには誰だろうか。いわんや我我追大生全員が一体となり協力し合い創り上げいかなければならない。

テーマ『激震マグニチュード'81分岐点、いま休火山から活火山へ』の中には、大学祭においてだけではなく、全面的に現追大生の気質を打破してもらいたいといふ願望が含まれています。この第15回将軍山祭を契機に追大生一人一人が自己を視つめ直して欲しいものだと思っています。

最後に多大なる御支援、御協力を頂いております卒業生の皆様、どうぞこの期

間に母校に帰れますよう、心よりお待ちしております。

第15回 将軍山祭

実行委員の御紹介

委員長 伊藤真一	副委員長 黒木信繁	情宣局長 永井一弘	財務局長 鈴木信二郎	企画局長 松岡宏明	出版局長 木村幸二	資料局長 竹内寿	総務局長 日野幸一	辻田秀一郎	中畠清
委員長 伊藤真一	副委員長 黒木信繁	情宣局長 永井一弘	財務局長 鈴木信二郎	企画局長 松岡宏明	出版局長 木村幸二	資料局長 竹内寿	総務局長 日野幸一	辻田秀一郎	中畠清
委員長 伊藤真一	副委員長 黒木信繁	情宣局長 永井一弘	財務局長 鈴木信二郎	企画局長 松岡宏明	出版局長 木村幸二	資料局長 竹内寿	総務局長 日野幸一	辻田秀一郎	中畠清
委員長 伊藤真一	副委員長 黒木信繁	情宣局長 永井一弘	財務局長 鈴木信二郎	企画局長 松岡宏明	出版局長 木村幸二	資料局長 竹内寿	総務局長 日野幸一	辻田秀一郎	中畠清
委員長 伊藤真一	副委員長 黒木信繁	情宣局長 永井一弘	財務局長 鈴木信二郎	企画局長 松岡宏明	出版局長 木村幸二	資料局長 竹内寿	総務局長 日野幸一	辻田秀一郎	中畠清

今年は予算の関係で諸先輩方への案内状がハガキになりました事、ならびにパンフレットに限りがあり、御送りできない事を紙面をお借りして深くお詫び頂します。



第15回将軍山祭（大学祭）参加

宮本輝氏 映画「泥の河」

多数の参会者に深い感銘と涙!!

大学同窓会将軍山祭は、今回の第15回将軍山祭に参加することに常任理事会で決定し、将軍山祭実行委員会（在学生側）に申し入れました。在学生側は、その企画内容に共鳴し、協賛の意向を表明。

ここに、大学祭始って以来初めて同窓会将軍山祭が参加することとなりました。

このことは、一つは在学生に対する卒業生からの奉仕であります。今一つは、卒業生の団体としての社会に対する奉仕でもあります。

今回の「文学講演と映画の午後（ひととき）」には、四〇〇名近い方々が参集されました。

母校の追手門学院大学第一回卒業宮本輝（本名・正仁）氏の「文学の方向」という題の講演と、彼の作品である『泥の河』（第13回太宰治賞受賞）の映画上映の会は、前夜来の雨が止んだ11月3日（祝）文化の日、大学学生会館・大ホールで午後一時から開かれました。

「文学講演と映画の午後」に対し母校の追手門学院大学第一回卒業宮本輝（本名・正仁）氏の「文学の方向」という題の講演と、彼の作品である『泥の河』（第13回太宰治賞受賞）の映画上映の会は、前夜来の雨が止んだ11月3日（祝）文化の日、大学学生会館・大ホールで午後一時から開かれました。

茨木市教育委員会も推薦の上

では、茨木市教育委員会も推薦の上

と将軍山会員が会場をうずめました。

母校の追手門学院大学第一回卒業宮本輝（本名・正仁）氏の「文学の方向」という題の講演と、彼の作品である『泥の河』（第13回太宰治賞受賞）の映画上映の会は、前夜来の雨が止んだ11月3日（祝）文化の日、大学学生会館・大ホールで午後一時から開かれました。

「文学講演と映画の午後」に対し母校の追手門学院大学第一回卒業宮本輝（本名・正仁）氏の「文学の方向」という題の講演と、彼の作品である『泥の河』（第13回太宰治賞受賞）の映画上映の会は、前夜来の雨が止んだ11月3日（祝）文化の日、大学学生会館・大ホールで午後一時から開かれました。

茨木市教育委員会も推薦の上

と将軍山会員が会場をうずめました。

母校の追手門学院大学第一回卒業宮本輝（本名・正仁）氏の「文学の方向」という題の講演と、彼の作品である『泥の河』（第13回太宰治賞受賞）の映画上映の会は、前夜来の雨が止んだ11月3日（祝）文化の日、大学学生会館・大ホールで午後一時から開かれました。

茨木市教育委員会も推薦の上

